

アドラー心理学

武術

研修会

東京

日 時： 2022年10月29日(土) 13:30～16:30

受講料： **事前** 会員4,000円 非会員5,000円 学生会員3,000円

当日 会員5,000円 非会員6,000円 学生会員4,000円

会 場： 東洋学園大学1号館2階フェニックスホール (東京都文京区本郷1-26-3)

講 師： 甲野陽紀氏 ファリシテーター：深沢孝之 (日本個人心理学会副会長)

申 込： クレジット決済フォームから (VISA、MasterCard、American Expressのみ)

その他の決済方法 フォームから申し込んだ後、振込先をご案内いたします。



日本個人心理学会
第4回
研修会

コロナ禍で世界中が揺れたこの2年間、私たちの暮らしや意識は大きく変わりました。しかしその中で私たちの生き方や考え方の多くは、狭く断片化され、分断化されたものであったかもしれません。その結果、社会、経済、教育などで大きな問題が生じています。個人心理学(アドラー心理学)がこれからの世界に貢献するために、今年度の研修会と次回の第3回学術大会では、個人心理学の基礎理論の一つである「全体論」を改めて見直してみよう、ということになりました。全体論こそが、心と身体、自己と世界などの関係を考えるときの基本的な「ものの見方」になるからです。そのために今回は外部から、言葉と身体感覚、身体運動について斬新な発想でアプローチしている甲野陽紀氏を招聘し、体験的に楽しく学ぶ機会を設けることになりました。全体論をこれまででない角度から感じ取り、考えてみませんか。

研修の流れ

趣旨説明：深沢孝之
「アドラー心理学の
全体論と身体性について」

講義と実技：甲野陽紀氏
質疑、討論



甲野陽紀氏
(身体技法研究者)

1986年、東京都生まれ。身体技法研究者。

武術研究者・甲野善紀氏の武術指導のアシスタント、演劇制作スタッフなどを経験した後、独立。分野や流儀、流派にとらわれない立場で身体技法の研究を始める。達人や名人と呼ばれるほどの技量を持つ武術家や職人などの技を観察・分析する研究を基盤に、さまざまに変化する身体の動きを、注意の向け方や言葉の使い方などとの関係から読み解き、そのエッセンスを日常に役立つ技法として提案する斬新なアプローチは、スポーツや介護、楽器奏法、教育関連など、さまざまな分野の専門家からも注目されている。

心身の全体論的理解を深めるために

身体感覚の再発見

言葉で
導かれる



※ 激しい運動はありませんが、軽い運動を伴うワークがあります。差支えない服装でご参加ください。

※ 新型コロナウイルス等の流行により、対面実施が困難な時はオンラインに切り替えることがあり得ます。

日本個人心理学会 検索

<https://www.jsip-a.jp>